

## 学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南九州市立知覧中学校	児童生徒数	234人
-----	------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



学習目標や流れを明確にし、「振り返りの視点」を提示する。

前時の学習内容の振り返りとして、カードを並べ替えて実践の順番を確認し、本時の実践手順を確認する。



アプリで角度を確認



撮影した画像でポイントを押さえて実践できているかを振り返り、課題を再確認する。

授業の最後にアンケートを通して振り返る。  
⇒アンケート結果で変化を比較

隣にいる人が急に倒れたらあなたは何をしますか

- 救助しようとする
- 救助したいが何もできないと思う
- 知り合いだが救急隊が来るまで待つ
- 知らない人なので何もしない



救助しようとする62% (授業前)



救助しようとする87% (授業後)

### 取組についての概要 (成果)

11月6日(月) 第3学年 保健体育科「心肺蘇生法」における実践

本時の「振り返り」は、Google フォームによるアンケートを活用して行った。「隣にいる人が急に倒れたらあなたは何をしますか。」という問いに対して、①「救助しようとする。」②「救助したいが何もできないと思う。」③「救急隊が車で待つ。」④「何もしない。」という4つの選択肢で回答を求めた。

学習前と学習後と比較すると、「救助しようとする。」と回答した生徒が62%から87%に伸びた。また、ワークシートへの自由記述では、「自分や仲間では何が出来るか」という視点で振り返りを行った。「学んだことを生かして、胸骨圧迫やAEDの使用、119番通報などを自分が自信を持って指示したい。」「実際には勇気が出ないかもしれないが、まずはAEDの場所を確認することを意識したい。」などの振り返りが見られ、生徒が積極的に応急手当を行うことに対する意欲的な状況を把握することができた。

今後は応急手当の技能の習得だけでなく、他の単元でも学んだことを日々の生活や実践に生かせるよう、授業の充実を図っていきたい。

